

平成 29 年度 第 2 回評議員会（報告）

日 時 平成 29 年 10 月 26 日 15:45-17:30

場 所 会議室

参加者 学校評議員

	氏 名	役 職 等	推 薦 理 由	出 席
1	加藤 敬一	赤穂中学校教頭	地元中学校	○
2	小原 恒敏	定時制振興会理事	定時制OB	○
3	田中 清志	駒ヶ根管工業(株)	地元企業代表	○
4	西垣内 磨留美	長野県看護大学教授	地元大学関係者	○
5	林 恵美子	同窓会副会長	同窓会代表	○
6	平岡八千代	元全日制PTA副会長	保護者代表	○
7	米山 賢宏	小町屋区区長	地元住民代表	○

職員

学 校 長	伊藤 信夫	生徒指導主任	原 登
全 日 制 教 頭	三輪 元子	生徒会担当	鈴木 良
定 時 制 教 頭	竹内 豊一	3 学 年 主 任	星野 竜郎
事 務 長	土村 正和	2 学 年 主 任	伊坪 一徳
教 務 主 任	北沢 隆	1 学 年 主 任	田中 誠一
商 業 科 主 任	山口 功	教 務 (記 録)	窪田 正利
進 路 指 導 主 任	平谷 清司		

I 学校評議委員会

15:45 ~ 17:00

- 1 学校長より (報告) 周年行事 (定時制 70 周年)、学びの改革実施方針について
- 2 学校の近況
 - (1) 教務 ①中間評価報告(学校生活アンケート、授業評価、学校自己評価)
 - (2) 進路指導 ①全日制普通科の進路希望と 9 月末までの決定状況
 - (3) 生徒指導 ①生活指導の現状報告
 - (4) 生徒会 ①鈴蘭祭映像紹介
 - (5) 商業科 ①商業科通信に見る課題研究を中心にした地域との連携学習
 - (6) 学年 (1 年・2 年・3 年)
 - ① 1 年 発達障がい生徒の肯定的な自己理解に向けた取り組み
 - ② 2 年 清掃指導と修学旅行に向けた取り組み
 - ③ 3 年 進路決定へ向けての取り組みと体制
 - (7) 定時制の近況
 - ①自己評価
 - ②70 周年記念行事について
 - ③生活体験発表大会、等、生徒の活躍について報告
 - (8) 生徒会新役員挨拶 ①生徒会新役員自己紹介 (正副会長)
②新生徒会長から抱負 挨拶運動等を主体的に行っていききたい
- 3 評議員からのご意見・ご助言・質問 (後述)
- 4 その他
第 3 回学校評議委員会 2 月 20 日前後に実施予定 ご都合の調査後決定する。

II 部活動参観

17:00 ~ 17:30

《運動系クラブの活動紹介》

野球部 ⇒ 卓球部・バスケットボール部・バレーボール部 ⇒ 陸上部 ⇒ 弓道部
⇒ 剣道部 ⇒ テニス部

Ⅲ 評議員からのご意見・ご助言・質問

評議員氏名	助 言 等
<p>加藤 敬一氏 (赤穂中学校教頭)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に行けなかった定時制の生徒たちの活躍を聞いて感謝している。定時制は70周年を迎えるが地域の宝物である。 ・日々のキャリア教育の中に進路指導がある。授業の中でキャリア教育はできる。商業科だけでなく普通科や定時制でももっとできるのではないか。 ・障がいのある生徒については中高で連絡をもっと密にしていきたい。
<p>小原 恒敏氏 (定時制振興会副会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの改革については地域にどんな学校が必要かを考えながら残していくことが大切。方針が出てから考えるのでは遅い。地域の宝としてこの学校の在り方を考えるべき。
<p>田中 清志氏 (株)駒ヶ根管工業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの結果はおおむね良いのではないかと答えた生徒にも目を配ってほしい。 ・就職の状況はよいようだ。景気が良くなったという面もあるだろうが生徒の努力の成果ならば学校内でも共有し、地域や企業にも伝えてほしい。
<p>西垣内 磨留美氏 (長野県看護大学教授)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がいは急に出てきたことではなく昔からある。前に比べて対策も進んでいる。日常的には普通に接してよい。よく注意してみてください。 ・入試改革や高大連携について高校ではどのように進めているのか。→3年後の改訂に向けて検討を進めている。推薦AOでも学力が必要となり調査書の記載内容も変わるのでより細かく生徒の情報を蓄積する必要性を感じている。(進路指導)
<p>林 恵美子氏 (同窓会副会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生として新聞等で活躍を見るとうれしい。家が近所だが、気持ち良い挨拶をしてくれてとてもよい印象である。 ・アンケートについて居心地が悪いのはなぜなのか。→定期的にアンケート調査しているが記述部分にははじめのような記載はない。おそらく友人関係であろう。(校長) ・卒業式での服装は標準服を着てほしい。 ・地元の行事に参加してくれているボランティア同好会には感謝している。 ・登校時に近道する件については地元としても対策したほうがよい。
<p>平岡 八千代氏 (前全日制PTA副会長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤そば祭り等ではびを着た商業科の生徒が地元企業と協力しているのを見て感心した。事後報告では残念。事前にHP等で宣伝してくれれば出かける意欲にもつながるのではないか。 ・学びの改革について、高校の「配置」というのが気になる。これから赤穂高校はどうなるのか、選抜の基準は変更されるのか、等、心配である。 ・定時制の人生発見講座(性教育)は興味がある。生命誕生、恋愛、子育て等は親でもなかなか話すのは難しい。全日制でもやってはどうか。
<p>米山 賢宏氏 (小町屋区区長)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・私有地を横切らないようにしてもらいたい。地元でも外灯を変えたりして安全に登下校できるような環境を整えている。 ・小町屋の地域は赤穂高校を誇りに思っている。